

平成 22 年 10 月 7 日

**平成 22 年度第 2 回  
いわき市食育推進委員会議事録**

## 平成 22 年度第 2 回いわき市食育推進委員会 議事録

1 開催日時： 平成 22 年 10 月 7 日（木）14：00 ～ 15：40

2 開催場所： 総合保健福祉センター 3 階会議室

4 議事案件及び発言内容等：

### (1) 報告事項

現在実施している食育モデル事業の中間報告について

委員長	はじめに、「現在実施している食育モデル事業の中間報告について」のうち、「メタボリックシンドローム対策メニュー提供事業」について事務局より説明をお願いします。
事務局	（資料 1 に基づき説明） 説明：保健所地域保健課
委員長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
委員 A	メニューの提供については、有償だったのか。
事務局	職員・市民の皆様が活用する本庁 8 階食堂で実施したことから、有償による提供を行った。値段については、1 回目 480 円、2・3 回目は 500 円での提供であった。
委員長	報告内容で提供事業は 3 回実施しているが、アンケート実施は 2 回となっている。その点で相違が出ているのは何か理由があったのか。
事務局	メニュー提供事業実施に係る調整を請負業者と直前まで行っていたことなどから、アンケート項目等の調整に時間を要したため、アンケート調査については 2 回の実施となった経緯がある。
委員長	続いて、「いわきふれあい弁当デー事業」について事務局より説明をお願いします。
事務局	（資料 2 に基づき説明） 説明：教育委員会学校教育課
委員長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。

委員 B	「いわきふれあい弁当デー事業」については、今年度3校をモデル校として選定し実施したが、来年度以降についてはどのように展開していく意向なのか。
事務局	本市においては、平成21年に策定した市食育推進計画に「ふれあい弁当デー」の推進が位置づけられていることから、将来的には、いわき市全体での取組みとして展開していきたいと考えている。 教育委員会については、今年度の実施状況を踏まえ、課題等を整理したうえで、来年度は学校数の拡大や給食センター単位での実施などについて検討することとしたい。

委員長	それでは、本日は、「県立磐城農業高校」において、現在進められている様々な食育の取組み状況について、ご報告いただきたい。
委員 C	(当日資料に基づき説明) 説明：県立磐城農業高校
委員長	何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
委員 D	ちなみに、農業関係の高校を卒業した生徒のうち、どれくらいの割合で生産者として自立していくのか。
委員 A	近年は、卒業後にすぐに専業農家として自立を果たす生徒は無いに等しい状況下にある。高校卒業後に、専門学校・大学等を経て農業関係の職に就く生徒や、兼業農家として農業に携わる生徒がいるといった状況である。
委員長	他に、本年度、各団体等における食育の取組み状況について、報告があればお願いします。
委員 D	生活研究グループの取組み 「郷土食をつくる会」については、長年に亘り活動してきたこともあり、メニューが不足気味となったことなどから、事業実施を見送ってきた経緯がある。 現在は、会員個人が公民館事業に声をかけてもらい講師として参加するなどの取組みを実施している。 講師として参加するに際し、参加者の中には、実母の介護のため参加する男性などの姿も見受けられ、地域ぐるみの活動が浸透している一面も確認できる。

委員 E	<p>健康推進員の取組み</p> <p>福島県は全国的にも肥満児が多い状況となっており、いわき市はその県内においても肥満児が多いとされている。</p> <p>このような現状を踏まえ、幼少期からの糖尿・高血圧対策の一環として、県の委託事業「未来（ゆめ）づくり食育事業」を実施している。本事業は、幼稚園・保育所（健康推進員6方部の6幼稚園・保育所で実施予定）でサツマイモ、ナスなどを栽培し、それらの食材を利用した料理など、親子のふれ合いを通じた食育の推進を図ることとしている。</p> <p>近日では、10月15日以内郷方部の幼稚園で実施予定。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

委員 B	<p>子育て家庭の“つどいの広場”</p> <p>「子育てポピークラブ」の取組みとして、思春期の子どもたちの食生活が大人になってから大きな影響を与えることから、それを事前に防ぐこと、また、取組みを通して、親の子育て不安解消の一端を担うことで、児童虐待を防ぐなどの目的から実施している。</p> <p>食習慣については、3歳までの味覚が将来に亘って影響するなど、食事の基礎を幼少期から培うことは非常に重要なものであり、また、子ども達が自らの力で食事を作る力を養うことは、成人になる過程において重要なものとなってくるので、食育推進の観点からも、その一端を担う役割を果たす目的で事業を実施している。</p> <p>ひたちなか市では、JAと提携し、「ふれあい弁当デー」を実施していると聞いているので、市においても「ふれあい弁当デー」を実施しているところだが、さらに、子どもが“自ら”弁当を作る部分を強調できればより良い取組みになるのではと感じている。</p> <p>また、先日、ひたちなか市で開催された食育講演会では、子ども自身が作る「弁当の日」の取組みを始められた、竹下 和男氏を講師に招き、大変良いお話をうかがうことができた。是非、いわき市民の皆様にも聞いていただきたいと思う。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 協議事項

平成 23 年度以降の食育モデル事業について

委員長	それでは、続きまして協議事項のうち、「平成 23 年度以降の食育モデル事業について」事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料 3 に基づき説明)
委員長	事務局からの説明に関して、何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
委員長	事務局から提案されている、いわき「ふるさとふれあい弁当」コンテスト事業については、関係課との連携のもと、どのように進めていくのか。
事務局	ワーキンググループメンバーの話では、現在、市内の小中学校において、ふれあい弁当デーということで、親子の取組みとして弁当作りを実施していることから、夏休みあるいは、冬休みの課題として教育委員会に採用してもらい、その中でメニューの募集をしていくことを想定している。 また、地元食材の活用といった視点も踏まえたいと考えている。
委員長	通学している子ども及びその保護者がこの事業の対象となることで理解してよろしいか。
事務局	現時点では、このような想定となっているが、今後、委員の皆様からの意見等を踏まえながら、実施方法等について具体的な検討を進めていきたい。
委員 B	庁内推進会議の事業(案)が採用されていて、委員から提出された事業(案)については採用されていないが、どのような理由からなのか。また、「ふるさとふれあい弁当」コンテストについて、子どもが自分でつくる弁当と関連づけをしながら実施した方がより良い取組みになるのではないのか。
事務局	推進委員会の皆様から提案いただいた事業(案)については、現在、本市が実施している事業、あるいは、関連施策をより充実したものとするための参考とさせていただくことで、一旦の整理をさせていただいたものである。

委 員 F	<p>事業の整理については理解できたが、今回事業を提案した中には、虫歯の多い子を早めに発見して対策を講ずる必要があるのではとの思いで提案させていただいたものもある。</p> <p>確かに、現在実施されている事業の中で包括的に対策を講じられているものと捉えられるが、市が実施する事業に参加する親などについては、虫歯対策に関心の高い方々がほとんどであると考えられるので、そういった機会に参加することがなかなかできない環境で育つ子ども達への対策を今後どのように進めていくべきなのかを念頭に事業を展開していただきたい。</p>
事 務 局	<p>そのような点にも配慮した事業展開に努めていきたい。</p>
委 員 長	<p>何か質問、意見等あれば発言をお願いします。</p>
	<p>(質問、意見等なし)</p>
委 員 長	<p>それでは、事務局から提案された2事業について、今後改善意見等がある場合については、直接事務局まで提案いただきたい。</p>
事 務 局	<p>本日提案させていただいたモデル事業の他に、今後モデル事業を展開する際の一つのテーマとして、「米粉利用の推進状況」について情報提供させていただきたい。</p> <p>(当日資料に基づき説明) 資料：農林水産省資料より</p>
委 員 長	<p>何か質問、意見等あれば発言をお願いします。</p>
委 員 G	<p>米粉に関連した取組みとして、飲食店組合では、10月23日・24日に、いわき駅前において、米粉を利用した料理を振舞う予定である。</p>
事 務 局	<p>今後、本市において、モデル事業を展開する上での一つのテーマとして、米粉に関する情報の提供をさせていただいた。</p> <p>今後皆様から、具体的な事業実施に向けた意見等をいただきながら、協議・検討していくこととしたい。</p>

市民アンケート調査の実施について

委員長	それでは、続きまして協議事項のうち、「市民アンケート調査の実施について」事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料4に基づき説明) 【補足】「いわき明星大学学園祭」については、10月23日(土)で調整したこと、また、いわき市健康週間については、10月14日(木)にマルト中岡店の栄養相談に併せて実施する旨を説明。
委員長	何か質問、意見等あれば発言をお願いします。
	(質問、意見等なし)
委員長	それでは、市民アンケート調査の実施については、事務局(案)のとおりをお願いします。

その他

委員 D	市が実施している「農産物直売所スタンプラリー」については、生産者から見ても非常に喜ばしいことであり、普及啓発の点から大変有効的な取組みであると考えます。 皆さんにも是非この機会に、直売所に足を運んでいただきたい。
委員 A	小児等の食物アレルギーについては、現代病として注目されていることから、関連の冊子を用意したので、委員の皆さんにも、今後の食育推進に際し参考としていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モデル事業の提案等については、今後も協力をお願いします。</li> <li>・ 食育推進委員会については、今年度3回の実施を予定。3回目については、来年の2月を予定している。</li> </ul>

以 上